



ホームページ http://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/
メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp
☎ 0154-44-3291 FAX 0154-44-3292

北海道教育大学と北海道へき地・複式 教育研究連盟との連携が進みます！

1. 北海道へき地・複式教育研究連盟2019年度定期総会で北海道 教育大学との連携が方針として確認されました。

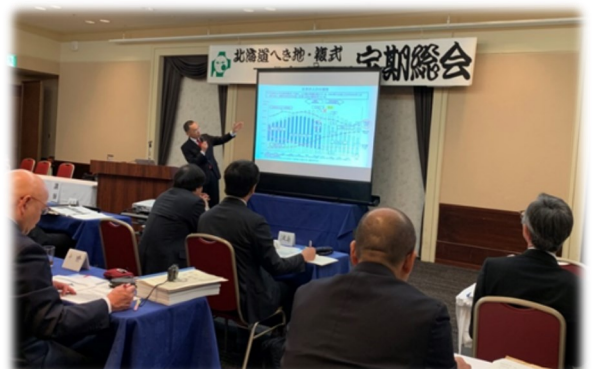
北海道へき地・複式教育研究連盟定期総会が、2019年5月10日にホテルライフオート札幌で開催され、連盟の方針の中には、北海道教育大学と連携し、へき地教育研究や実践を推進することも提起されました。北海道教育大学からは、へき地・小規模校教育研究センターの玉井康之センター長が来賓として出席しました。北海道教育大学としても、北海道へき地・複式教育研究連盟とも連携して、へき地の学校現場と、様々な研究・教育活動に取り組んでいきたいと思えます。

この総会では、北海道立教育研究所の北村善春所長による講演「地域とともに生きる」も行われました。北村所長は統計を用いながら、すでに北海道では全体の半分以上が学年1学級以下の小規模校となっており、へき地・小規模校はマイナーではなく、標準的存在になっている実態を示しました(別添)。さらに地方においては、人口減少が続く中で少子化・小規模校化は一層激しくなり、このような中で、へき地・小規模校研究が大きな役割を果たしていくことが強調されました。へき地・小規模校の指導方法は、間接指導方法、課題探究的学習方法や地域教育にしても、へき地小規模校で実践されている教育方法がこれからの全国的なモデルとなり得ることが紹介されました。また、現在進められている北海道教育大学と北海道立教育研究所との連携研修講座を紹介しながら、アカデミズムを中心とした北海道教育大学と実践研究を進める北海道立研究所や北海道へき地・複式教育研究連盟が連携しながら、少子化時代のへき地教育の積極面をとらえていくことの重要性について強調されました。

なお、5月20日には、北海道へき地・複式教育研究連盟の古田統会長および温泉敏事務局長が、蛇穴学長を表敬訪問されました。



北海道へき地・複式教育研究連盟の役員挨拶



北海道教育大学との連携の意義を語る北海道立教育研究所 北村善春所長

2. 北海道へき地・複式教育研究連盟OB会25周年記念式典においても、北海道教育大学との連携が紹介されました。

【へき地・小規模校で集団活動ができるという講演】

2019年5月11日には、北海道へき地・複式教育研究連盟OB会も開催されました。OB会は現役のへき地・複式教育研究連盟と協力し教育行政への働きかけや啓発活動を行っています。全国へき地教育研究連盟の小野寺事務局長から「へき地教育の現状と課題」と題した講演がありました。「へき地では集団活動ができない」と言われるが、やり方によっては集団活動はむしろできること、集団活動に代わる人間関係づくりや大規模校と小規模校の双方向交流事業などの働きかけによって充分集団的な資質が身につくことや少人数だからこそ、むしろ力を発揮して集団的な関係力が高まる子どももいること、ふるさと教育などを受けてへき地に戻ってきた時に、地域リーダーとして活躍する子どももいることなどについて講演がありました。

これらを含めて、北海道教育大学と同連盟が協力して、へき地・小規模校の良さをもっと広めることが重要だと強調されました。



講師紹介を行う元北海道教育大学へき地教育アドバイザー
梅木登喜雄氏

【へき地・小規模校教育研究センターが国際的に注目されていることを紹介】

その後の祝賀会では、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターの川前あゆみ副センター長が挨拶され、北海道教育大学の取り組み概況と国際的にもへき地教育研修依頼や講演オファーがあることを話され、国際的にも北海道教育大学が注目されていることが広く紹介されました。



祝賀会で挨拶するへき地・小規模校教育研究センター
川前あゆみ副センター長

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ お 知 ら せ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

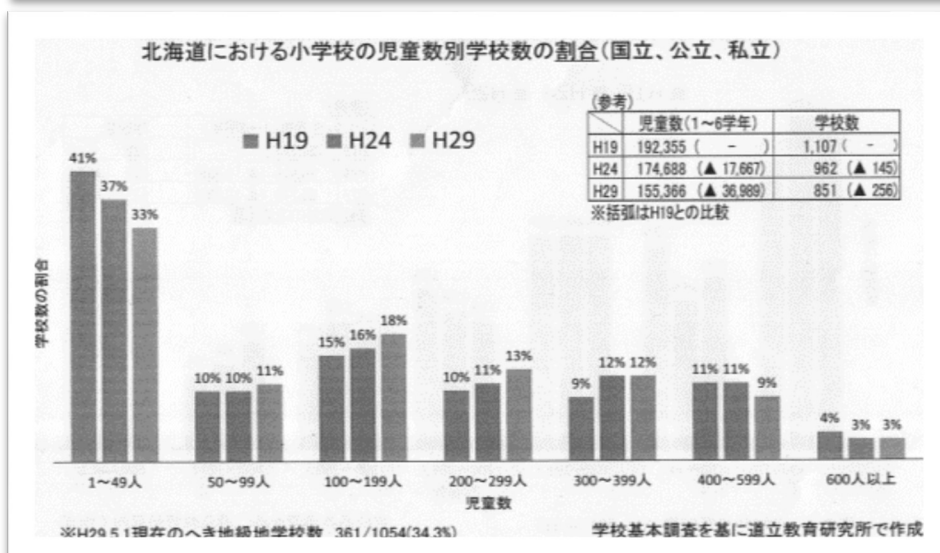
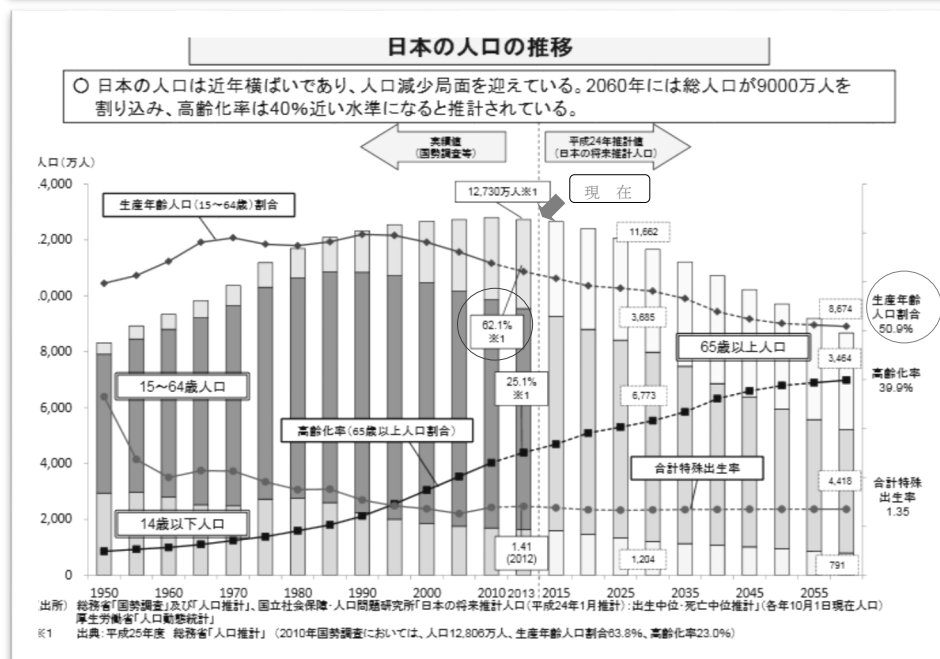
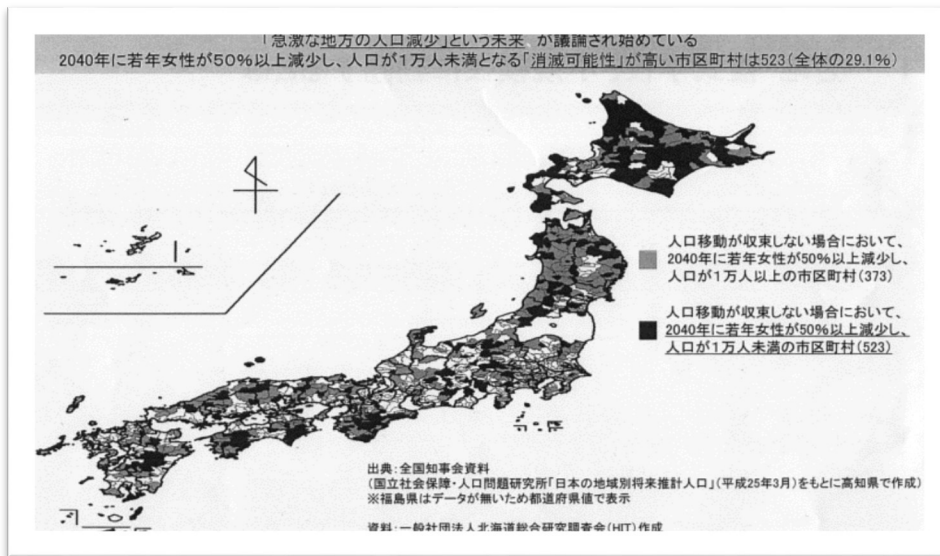
◎へき地・小規模校教育研究センター会議

2019年6月29日(土)14時30分～17時00分に、札幌駅前サテライトにおいて開催します。この会議では5キャンパスのセンター員・へき地教育アドバイザー等が集まり、年間方針や具体的な活動計画を審議します。

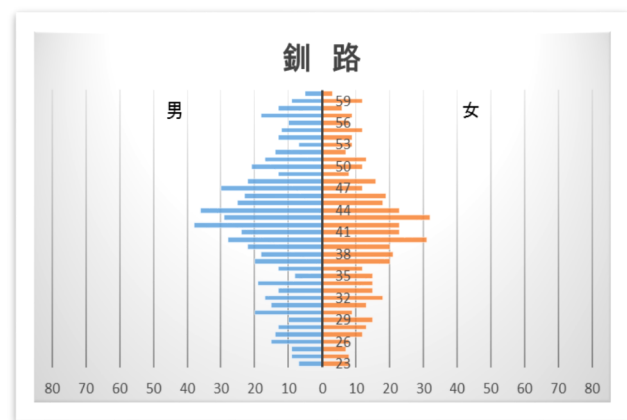
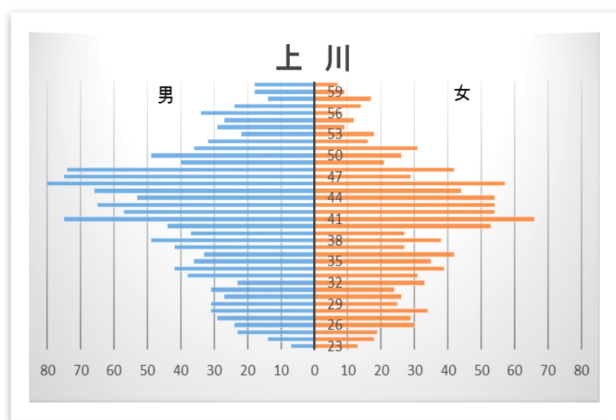
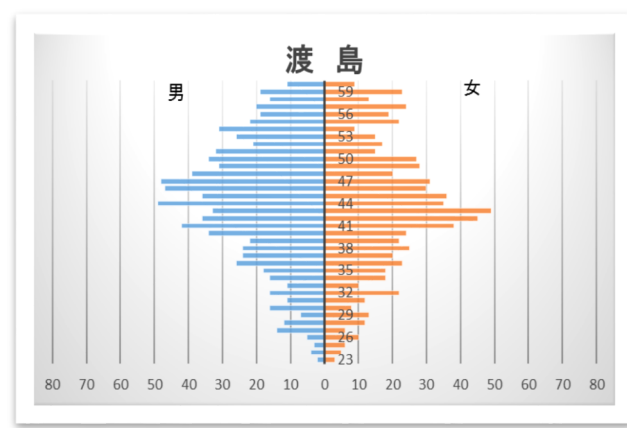
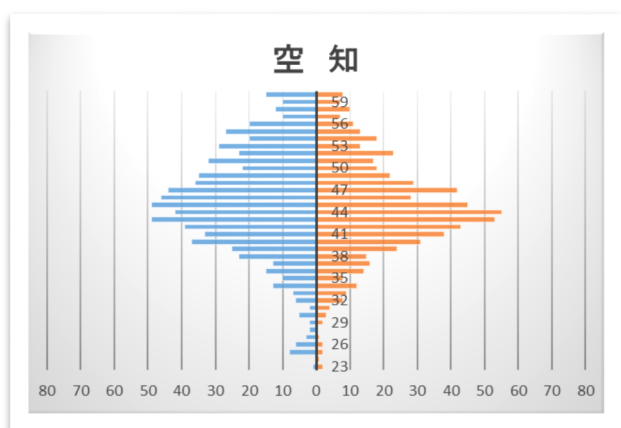
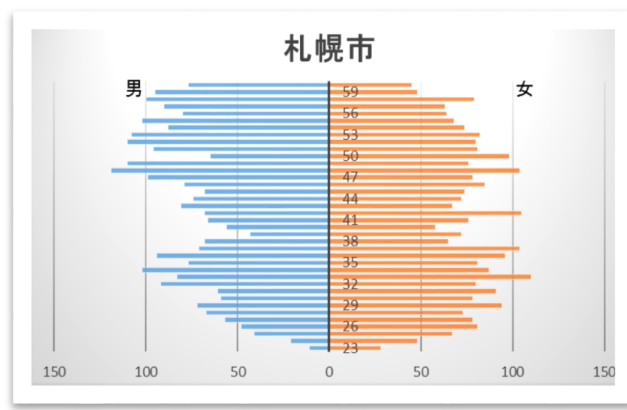
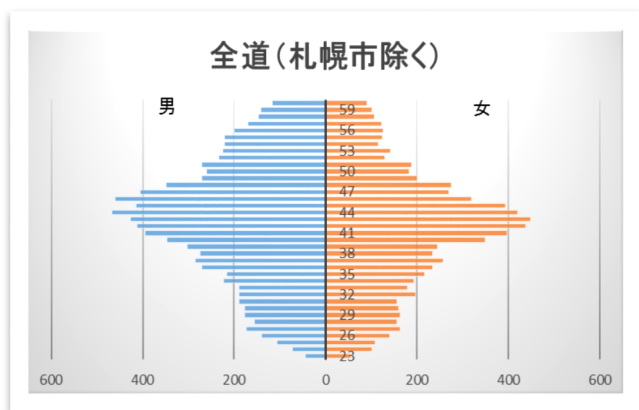
◎へき地・小規模校教育推進フォーラムを開催

2019年8月28日(水)13～17時、札幌キャンパスにおいて、へき地・小規模校教育推進フォーラムを開催する予定です。ここでは他大学の取り組みとの比較も含めて検討していますが、内容は現在調整中ですので、詳細は追ってお知らせします。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

以下、北海道へき地・複式教育研究連盟定期総会の際、北村善春北海道立教育研究所長が提示した日本および北海道の人口減少とへき地校の現状に関する学校小規模校化の実態です。この資料では、1)人口減少が今後全国的に激しくなること、2)北海道では圧倒的大部分が小規模校となっていること、3)へき地が多い道東・道北地帯では若手教員が多いこと、などが示されています。



管内別・年齢別教諭数(小中学校)(北海道教育庁教職員課)



■教員数は、「管内別(札幌市を含む)」及び「全道(札幌市以外)」については、平成27年5月1日現在の現員報告における教諭(正規採用者のみ)の数、

■「全国教員数」については、平成25年10月1日現在の学校教員統計調査における本務教員数

■年齢は、「管内別(札幌市を含む)」及び「全道(札幌市以外)」については平成28年3月31日現在、「全国教員数」については、平成25年10月1日現在の学校教員統計調査時の年齢を時点更新している。

■単位は人数である。